

第 18 回新中間処理施設整備検討会議（開催概要）

1 開催日時 令和元年 12 月 18 日（水）13 時 30 分～14 時 30 分

2 開催場所 くりりんセンター 2 階研修室

3 出席者

（1）構成員

帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

（2）オブザーバー

北海道十勝総合振興局

（3）事務局

くりりんセンター

1. 開会

（事務局長）

本日は、お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。

ただいまから、第 18 回新中間処理施設整備検討会議を開催いたします。

それでは、議事に入ります。

「十勝地域循環型社会形成推進地域計画（廃棄物処理施設概要版）素案」について、事務局より説明いたします。

2. 議事

議事（1）十勝地域循環型社会形成推進地域計画（素案）について

（事務局）

前回の検討会議において、新中間処理施設は、環境省の「循環型社会形成推進交付金」を活用して整備するため、「循環型社会形成推進地域計画」の提出が必要となることをご説明いたしました。

提出までの流れや提出資料について、各市町村の皆様から、現状の再生利用量、減量化量、最終処分量を記載するため、平成 30 年度の実績値のご提供を依頼させていただきました。

ご提供いただきました実績などに関するデータや、新中間処理施設の規模算定における将来のごみ排出量・処理量の推計結果などをもとに、北海道から提示される様式に従い、来年度 5 月頃に提出予定の地域計画概要版の作成を行っています。

内容についてご確認いただき、お気づきの点やご質問などがありましたら、後日ご連絡をお願いいたします。

なお、14 ページにおいて事業費の総括表を添付することになりますが、現時点において精査ができていないことから、空欄となっております。

説明は以上です。

(事務局長)

ただ今の説明についてご質問、ご意見はございますか。

14 ページの事業費関係を貼りつけていく部分がありますが、年度の貼り付け等もやっていかなければなりません。現時点でまだ出来上がっていないので来年北海道と協議をするときには入れ込んだ形に整理をしていきます。

その際には皆様方にもお伝えして進めていきたいと思っております。

事前に送りましたが、わかりにくい部分もあると思いますが、確認をいただき誤りがないかなども含めて後ほど何かあればご連絡いただきたいと思います。

地域計画の概要版の素案については、よろしいですか。

続きまして(2)「その他」ですが、皆様から何かございますか。

議事(2) その他

(音更町)

前々回だと思いますが、策定までにやるべきこととして解体費用は今後詰めていきますということでした。スケジューリングをペーパーで出していただきたい。

(事務局長)

基本的には、来年2月の副市町村長会議で基本構想についての上承をいただいて、その後、議員協議会に報告するという流れです。当然、それまでに一定の結論をつけなければならないということを進めています。

次回で整理がつくものは整理をつけ、整理がつかないものについては、いつまでに整理するということを書面でご用意して作業を進めたいと思っておりますが、このような形でよろしいですか。

(音更町)

はい。

(帯広市)

先日、議会で新中間処理施設整備に係る質疑がありました。基本構想の中で285億円という数字を出すあたり、プラントメーカーに聞き取りをしているということですので、ならば、内訳が出せるのではないかと。また、リニューアル方式やできるだけ安くする方法についても説明をするべきではないかと。まだくりりんセンターが使えるなら、もう少しゆっくり時間をかけて議論してはどうかという話もありました。

各ごみ担当課長が出席する検討会議の中で議会の意見を反映しているという話をしましたが、当事者として帯広市が答えられるように組合で検討してほしいという話がありました。構成市町村の議会の議論を踏まえて、資料の提供と今後の進め方を考えていただきたい。

概算事業費285億円の積算した根拠となる業者のまとめ、参考見積、285億円の内訳を示していただきたい。ごみ処理施設については、大変関心が高い事業で、議会をはじめ住民に情報を伝える責任がある。今後も事業費削減の努力と住民の理解や協力が得られるように積極的な情報発信、情報提供をしたいと考えています。

先般、基本構想の原案がまとまって、これからパブコメにかける段階にきています。については、

基本構想の策定の検討会議という名称になるかどうかは別にして、議会や住民にきちんと情報提供していくという意味でも、構成市町村が参画する会議を次年度以降も引き続き行っていただきたいと思います。

(事務局)

当然、こちらも情報提供させていただかなければならないと思っております。

285 億円の試算と根拠、業者の参考見積および 285 億円の内訳を示していただきたいとのご意見については、内部資料を精査して、プラントメーカー 6 社の施設ごとの見積額と 285 億円の内訳について構成市町村へお知らせしたいと考えています。

大変高い関心がある事業と受け止めています。パブコメもしくは住民説明会も踏まえて情報発信ができるものにつきましては、そのように努めさせていただきたいと思っております。

会議の継続についてのご意見については、現段階ではまだわかりませんが、新中間処理施設整備については、これで一段落というわけではなく、地域計画、基本計画等を進めていかなければならないと考えています。構成市町村のご意見をいただくことは当然必要だと思っております。改めて検討会議の継続とのご要望をいただきましたので、整理したうえでお答えさせていただきたいと思っております。現時点では、継続をしていくものと考えています。

(事務局長)

会議の在り方については、平成 29 年度に基本構想策定に向けた課題整理と方向性の確認ということで立ち上げて、規約を作ってきました。中間処理施設は、単にごみ処理をする施設を整備することだけではなく、施設整備によっては、住民のごみの出し方や収集、最終処分場の埋立量など様々な影響があります。1 回新しい施設を作れば 20 年、さらに延命化を図れば 30 年程度使う施設になります。これから 30 年どのようにごみ処理をしていけばいいのかということについて共通認識を持つため、平成 29 年度にいろいろな議論をさせていただきました。当時は、池北三町や鹿追町が生ごみの分別処理で堆肥化などを行っていたので、生ごみ処理の状況なども情報提供いただきながら議論しました。

平成 30 年度からは、基本構想を作るときもこのような議論を行う枠組みが必要だという視点で規約改正をして、基本構想の策定に向けて検討会議の継続をしています。基本的な方向を定めるということが今の検討会議の目的になっていますので、具体的な施設整備に向けて規約改正をするのか、新しい名称でするのは別にして、この枠組みは継続したいと思っております。不要だという方はいないと思っておりますが、負担にもなると当然思っておりますので、これまでと同じように極力環境担当課長会議と同日の開催にして、単独の開催については、極力少ない形での運営ができるように工夫をしながら皆さんのご協力をいただいて会議を運営していきたいと思っております。

この会議の場が情報共有の場であったり、認識を一つにする場であったり、もしくは情報提供の場であったりということにもつながると思っておりますので、是非ご協力をいただければと思います。

議会論議、資料提供についてはその通りだと思いますし、これまでもそれぞれの市町村で議会論議があったことについては、他の町村にも状況をお伝えして情報の共有化を図ってまいりましたし、資料等についてもそれぞれの市町村が住民に向けて、議会の論議のために必要なものについてはご協力させていただきました。これについては、引き続きやっていきたいと思っております。

住民の方々の関心が高いという部分では、これまで以上に情報提供、情報発信が求められてい

ると思います。これまでも議事録、資料等についてはホームページでの公開もしてきています。まずは構成市町村の皆様へ情報をお伝えしたうえで、このような情報提供の方法でいいのか確認を取りながらと思っております。

そういった点についてもご協力をお願いする場面がさらに増えてくると思っております。皆様の地域の方々の理解を得るために必要なことと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をいただければと思います。

他に何かご意見等ございませんか。

議事（２）その他

○大型動物等有害鳥獣の処理について

- ・動物の焼却は、現施設では処理対象外としており、新施設での動物焼却についても、難しいことを説明した。
- ・処理量や共同処理の意向等に関する調査の結果、現時点では、廃棄物処理の問題として当組合の新たな共同処理業務とする状況にはないものとした。

○整備にかかる国の支援制度の活用について

- ・新中間処理施設は、国の循環型社会形成推進交付金を活用して整備する予定であることから、概算事業費及び組合負担額について試算内容を説明した。（概算事業費約 285 億円のうち、交付金約 82 億円、交付税措置額約 78 億円、組合負担額約 125 億円）

○組合における災害廃棄物の処理について

- ・災害廃棄物の処理についての組合の基本的な考え方を説明し、今後、市町村から受け入れた災害廃棄物を処理するまでの保管について組合が検討することとした。

3. 閉会

（事務局長）

それでは以上を持ちまして会議を終わります。

会議の資料及び概要につきましては、これまでの会議と併せ組合のホームページで公表してまいります。本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。